

一万一千町民の心のよりどころとなり、町民の憲法ともいふべき『大豊町民憲章』及び『町民の日』等に関する条例が去る三月議会で制定されました。

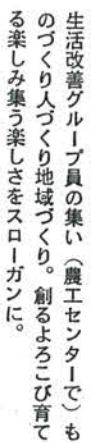
ものです。従ってこの町民憲章は行政が決め、町民に実践を強要する形のものではなく、町民と行政担当者、学校、職場等が一体となって、町民憲章に示された内容の一つ一つの実践活動を教育的に展開し、明るく町づくりを更に推進しようというのがねらいです。

時代の町づくりを考えなければならぬときにきています。

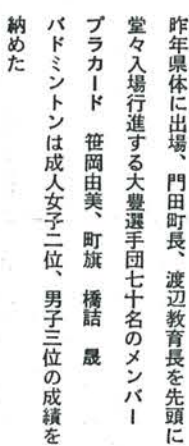
では、豊かな家庭、豊かな社会の条件とは何か？ 色々なところにある中で、特に大切なものは「ふれ合い豊かな人間関係」であり、人間同志のふれあひが大切です。

最近社会教育関係団体等の中には、みんなで協力して真に豊かな社会への変革を求めようとする意識が高まっております。

心、愛情の交流が豊かにあつた考え方を大切に、町



る社会であります。人間同
志が健康で豊かに結び合い
柔軟で寛容な精神と、豊
かな個性を発揮しながら楽
しみ合える社会、弱者を捨
てない社会づくりを自ざさ
いといこうというのが人づ



一、私達は、つねに人間を大切にし、しあわせをわかちあえる町民になります。

敬老精神の高揚、差別のない社会づくり、
小さな親切運動、献血意識の高揚

町づくりは、お互いの人を愛し、人を信ずることからにはじまります。お年よりを尊敬し、後世にのこさなければならぬ大切なものはお年よりから引き出して記録し、愛の一声をかけるなど明治、大正、昭和と生

き抜いてきた老人を大切に
しましよう。多くの老人は
物や金や施設よりも、家族
や町民の温かい思いやりの
心をよろこびます。

くり構想に基づく町民憲章制定の背景と課題であります。

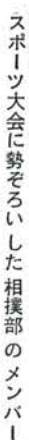
それでは、五項目にわたる町民憲章の内容等について説明します。

一、私達はつねに心と体をきたえて
明るい家庭をつくります。

生活の見直し、親子対話
各種検診の受診、町民総
スポーツ
いないだろうか。主婦は
家庭の太陽であり、家族の
健康管理上の最高責任者と

町づくりの根底は健全な家庭生活から。連合婦人会は「生活見直し運動」を目標にかけつて三年目、家族の間関係と衣食住にわたる物心両面の生活の「ムダ」や「ムリ」を発見し、これを改善して毎日の生活を見直そうというもの。

親子の対話が失われては、町民みんなで「たくましくなろう」という「心と体」をきたしたことになる。「心と体」をきたしたことになる。「心と体」をきたしたことになる。



チビツ子は柔道で鍛える…大豊町中央公民館

天は人の上に人をつくらず、人の下に人をつくらずと、福沢諭吉先生は平等の精神を教えました。老人だから、貧乏だから、知能が低いから、誰だか知らないから、

を教えました。老人だ
ら、貧乏だから、知能が
いから、避地だからなど
人間の差別や、地域差別
どがあつてはなりません。
どんな小さなことでも

の海、社会の爲に奉仕することを忘れないで、ふれい豊かな人間関係を育てましょう。交通事故や病氣のため手術に要する血液の確保がやかましく叫ばれていますが、昭和五十一年度献血された方は対象人口の

僅かに三%、五十二年度の成績は向上したものの同様に人が五回も十回も献血さへての成績で、より多くの国民による献血とはなっていないようです。

命を大切にし他人にほめてもらつてゐる。そして、恩恵に浴しよう。隣り近所の助け合い（仕事の「ゆい」など）による美しい風習を失わないようにしよう。

一、私達は、つねに助け合い決めごとを守り、よい習慣をつくりまします。

時間の厳守、新生活運動の推進

行政への参加、各種違反の防止

町づくりは決めごとや約束ごとを守ることからはじまります。時間を守るとい

うな。それをたけのことか
どうしても出来ませんが、
家庭は勿論のことあらゆる
職員の学校、会合で一本筋

職校や学校 会合で一本筋
を通して時間を守る習慣が
実現したら、それはすばら

ます。町外での話題「大豊時間」をなくしましょう。

隣人との連けいを緊密に
して、積極的に行政へ参
間を守ることから……。

加しましょう。部落自治の責任者であるみんなの選んだ区長さんを大切にし中心

にして、進んで町づくりに参加しましょう。役場からの伝達事項を、部落の隅々まで浸透させることが町

行政への参加です。自分達の生活の周辺に目を向け、みんなで道路管理をするこ

とも、災害を未然に防止することも行政への参加です。きめられた方法により

来年は統一地方選挙の

年、大豊町からは一名の違
反者も出さないよう、明る
い選挙の実現を期し、「地

方自治』をみんなで考え育てましょう。『交通三悪』を出さないように……。ドライバーにお酒を呉める女

性が本県では四人に一人いるようですが、決めごとを守りよい習慣をつくりまし

よう。たとえ急場の口約束であつても決めごとは守れ
(以下三面へつづく)

(以下三面へつづく)

住民自治の

明るい町づくり

を推進しましょう

(二面からつづく)
とを大切にしてきた大豊の
あくまで遠くまで。家庭
のことも部落の決めにし
る。

一、私達は、つねに郷土を愛し、
産業と文化の創造発展につとめま
す。

地域連帯性の確保、後継
者の育成
文化遺産と自然保護、地
場産業の育成
町づくりはコミュニティ
づくり(連帯感のある地域
づくり)から始まり、ま
す。都市に新しいコミュニ
ティが育ち、農山村で次
第にこれが失われつつある
と云われます。隣人への不
信感をなくし、ふれ合い豊
かな人間関係をつくり、横
の連帯を緊密にして次代
を背負って立つ後継者の育
成を家庭づくり、地域づく
りの重大課題に据えてみん
なで話し合ひましょう。

域農政特別事業」をスター
トさせましたが、そのねら
いは中央主導型農政を反省
し地域主導型農政への転換
を図って農民の自主性を尊
重し、農民同志の対話の復
活で失われた地域連帯性を
呼び戻し、農業生産の核を
ある「むら」の再建を促し
ております。本町でも十二
の地区公民館単位に、地域
主導型、住民主導型の町づ
り「公教育」のこと、した
がって家庭教育は三つの
「しか」に集約されます。
①家庭でしかできない教育
であり②両親でしかできな
い教育であり③一定の時期
にしか効果的でない教育の
ことですが、家庭でこの三つ
のしかを見失ってはいない
だろうか。教育は学校まか
せという考え方で家庭のし

図書室の子供たち (豊永小学校で)



大杉小家庭教育学級で学ぶ親たち

一、私達は、つねに力を合わせて
福祉と文教のまちをつくりま
す。

社会参加の福祉、しつけ
教育の徹底
青少年の健全育成、生涯
教育の推進
幸せな町づくりはたくま
しい人づくりからはじまり
ます。「心の前提のない社
会福祉は福祉ではない。福
祉とは与えられるものをい
います。行政の設置した

連合婦人会の総会 及び会長研修会 地区別研修も町民憲章が軸



大豊町連合婦人会(大
会会長)は、二月二十七日
代議員会(各部落正副会長
及び各部長)を招き、昭和
五十二年事業報告及び五
十三年度計画を審議決定し
た。午後は高知市第四小学
校浜田一郎先生の「生き甲
斐について」の講演を聞

き、社交ダンスの手ほどき、印刷配布される予定と
を受け疲れをほぐし解散し
た。
五十二年事業の主なも
のとして、会長研修、県
連等へのリーダー研修生派
遣、日赤奉仕団、結核予防
婦人会研修、一泊研修、地
区別共助会(十二地区)、生
活学校の運営、明るい選挙
常時啓発活動などがあり、
一月十二日と併催⑤その
地区公民館単位での地区別
共助会研修のまとめは近
く町民体育祭参加などが主

ものでこれに要する事業費
として五十一万五千円を見
込んでいる。
会長研修は毎年四月、部
落婦人会長等の交替時期を
ねらって行なうもので、今
年四月五日に実施した。町
内八十六部落中六十五名が
出席、会長の役割や婦人
会組織の重要性とそのあり
方、町民憲章の説明、婦人
会と行政各課とのかわり
と連絡事項等について研修
し、公民館で懇親会、新
しい町づくりへの方向を模索
するヒントをつかんで午後
四時散会した。
地区別研修会の内容につ
いては、①町民憲章、青少
年育成町民会議を主眼に据
えて、行政はもとより地区
公民館長及び運営委員、管
内各部長、小中学校教職員
青年団等の協力と指導を仰
ぎながらPTA、一般男子
成人も含めた「地域住民会
議」的内容のものとし地域
課題、生活課題を掘りおこ
し新しいコミュニティづく
りをめざそうというものを
このため地区会長はじめ
役員等は、成可く他地区へ

福祉電話を使って孤独な老
人に声をかけるのはコミュニ
ティの福祉です。全戸へ
す。生活の基本をはじめと
するしつけ教育は親の特権
であることを忘れてはなり
ません。青少年保護育成の
「青少年育成町民会議」を
「県条例」が四月一日から
施行され家庭の責務、学校
の責務、地域社会の責務が
明確にされました。少年
の非行が激増し、本町でも
「青少年育成町民会議」を



第5回町民文化祭で処女発表する
八川部落婦人会のコーラス



子供会の育成(東豊永地区)

つくりましたが、これが全
町民のものとなるよう、行
政も学校も家庭も職場も一
体となって、総合的な地域
教育について話し合ひま
しょう。そして生活課題、地
域課題、行政課題等人生の
その時機その時機に応じた
生活上の諸問題や、自己を
高めるための教育活動を展
開しましょう。そうすること
が「生涯教育」であり、
個人学習の相互作用が社会
教育であり、状況から学
び、状況へ働きかけ、状況
をかえてゆくという活動の
繰り返しが住民自治の公民
館活動です。

むすび

全町民及び町内に勤務す
る方々の一人ひとりが、こ
の町民憲章とどのようなか
かわり合いがあるのか、家
庭で職場で、地域で、団体
で個人で、日常生活の場を
通じてじっくりと研究し、
実践し、わが愛するふるさ
との町づくりを進めましょ
う。(以上)

編集後記

◆六月四日から十日までは
歯の衛生週間、昭和三年日
本歯科医師会の提唱でこの
日を虫歯予防デーに定めた
とか(六、四一むし)
◆私達は一回に三百回、一
日九百回、六十才まで自分
の歯を使うとして、一九七
一万回のしゃくをし、約
二百の食べ物をかみくだ
いている勘定のようにですが
国民の八五割はむし歯。
◆六月十日は時の記念日、
町民憲章の中の一つ時間を
守ることを先ず手はじめに
実行してみよう。
◆何かと忙しい季節、でも
も五十才を過ぎるとそろそ
ろ無理はせられませんかぞね
。(中四)

団長に前田幸太郎君再選



来年は明るくきれいな
選挙で頑張りましょう

来年は統一地方選挙の年です。県選管、県明るい選挙推進では選挙を明るくきれいにするための事業として、県下小中学校児童生徒から啓発作品を募集していましたが、本年二月入選者の発表がありました。	文の部では大杉中十八、穴内中一が応募し次の者がそれぞれ入選しました。
本町ではポスターの部で大杉小三、豊永小八十七、大杉中九、穴内中十五、作	ポスターの部は推進大杉中二年山中浩美、特選穴内小三年桑名和子、入選豊永小五年上村緑、穴内中二年国沢由美、作穴内中二年森下美香、森下幸恵、三年池知二男、森下由子
文の部は	作文の部は特選穴内中一

年国沢由美、入選大杉中、
年石川武志、佳作大杉中、
年秋山行巳、浜田里香
大人はこうした子供達の
純粋な批判と期待に応える
致しましょう。

郷土出身力士荒勢関は、去る四月一日粟生山歓喜院定福寺大修復落慶式に出席のため来町した。

衛生関係の新規事業

母親学級開設のお知らせ

住民課衛生係では、本年度から「母子保健」「妊婦乳児等保健相談事業」の二つとして、「母親学級」を開設しております。

から①妊婦中の保健と栄養②分娩の知識③赤ちゃんの保育などについて四回を一周スとして育児書などには見られない内容のものを勉強してもらいます。

へお問い合せ下さい。

税務署からお知らせ二題

選挙のあり方

初めに選挙運動を代表して激しい挨拶。荒勢固からは笑顔の答礼があつて再び職員の手拍子で退場。定福寺へと向つた。定福寺では、体育会の相撲部やチビッコ連に二時間ほど相撲の指導をした。このあと、やぐらの上から餅を投げて落成の行事。写真は大杉中学校二年山中浩美さんの描いたもの

「選挙」とは国民が良い政治をしてくれる人を選ぶことだ。だから、当然、良い人を選ばなくてはならないが、お金を貰つたりしてどんな人かを考えず、一票入れた人しか人がいるらしい。選挙の時には、テレビなどで必ず選挙違反で逮捕されたと報道される。私

穴内中学校一年 国沢

であり、正国民にとつてではないの、いくら求

正しい選挙も、これで行うことにならな

とはがた行ふこと

明るい選挙

[illegible]

きなくなったりは、どうして自分

田美（女） い選挙を願う は悲しいこと だろうか。	って困を治めて行 う人を選ぶのに、 をするのか、不思 。それは、わざ のではないと思う 分連のために選 ことを忘れている いか、などと考 は、まだ、二十才 ので選挙権はない 投票の大切さはわ
---	--

する。私
達にかわ
り方として
は良いので
選挙

「無効投票は、議決権を行使しなかったと見なされる。私は、戸別訪問は禁止されているが、欧米諸国などでは、自由に行っているようだ。私は今まで

か、守らないかで、ほんとうに良いと思って選んだ人

所は、と、ルールを守らずに選ばれた人ができる。ほんの少しのまちがいが選挙の意味をなくするのだ。「国民が選ぶ国民のための政治」ということはこの選挙の意味を示していると思う。私は、このことばどおりに、国民が、自分達のために選ぶと、国がよりよくなる。そのためには、国民一人一人

100

100